大型における科風研究の状況

高別に召合せられて脱資を賜

人部省關係官のを午後六時高輪

米わが海路公の納绌は、壊壊音 來、八月十四日には更にペララ 島に展開された敵米國の反攻以

約二ヶ月前ニュージョージャ

び海上でおいて連日登夜の別な く歌と変配し、大なる打戦を興 つあるのら『南島附近の上空及

その一千億期と続する設置にし

施切に場合しつく選進せねばな

起集し、また他を顧みぬ精進の いを駆倒のための生産力増殖に

るが如き状態にあつたことは何

説・執拗なる敵に對する途

つある酸級反攻の意図を如質に 然し敵のこの反交は、所詮物

が再覧である以上、われは敵に

以後「執拗に兵力増弱に労

第に歐緒して、わが本土に向っ

さるにても「歌物」なる「歌

如く、國民組織の機制は今日一 鮮に於ける糊力瞬間に見られる

この確立せる機能を通じての所

るいはゆる数日第二日於陣を次

局が著一番無然の度を加へ來つ

警殺喪は、開太平洋方面の配

がそれである。われらはこれに 起きものあい」と極めて敬烈 へをれるも敵反攻の勢ひは

る字句を以うて指摘してあ

る分を含んであるのであって、 ても、英、ノ殿、重盛、北阿、

新に期待 邑面制の刷

きな価値となってゐたかはい 題と國民生活の安定といる取用

> 脳のあるべきはずはなく、これ 吸の強化の三項がその分子とな

は之を咀嚼し、これを消化

國民が受取らればならぬ戦時重

要施策、或は朝鮮の行くべき途

といっても行政を運営するもの いつた機構、施設の威時域成も たことも勿論徴成である。事務

するまでもあるまい。特に明鮮 の至上命令に對してどれほど大 この行政指導力の近困が取

待つべきものがあらう。

に、その感を深くするのである

長なども今後は積極的に希望さ

府の通牒や示選導山がその印

八日科學研究に寄せさせ給ふ有

し廿五、六の兩日開かれた帝國

精魂を盡さん

き思召より科學研究助員に開

八風湖長金蔵に出席の各帯大線

集中機器に引給さ廿四日も開復を 際は重感、葛殿、紫慶、桂林への

選ねて萬腕及び三斗坪附近に進攻 動を避ける破軍事援點に對し完一

なきまでの瞬間を下すと共に取

の在支米容軍を邀降、うち十

| 勝司令官は八月廿三日出窓 漢口 道部發表(八月廿六日十四時)畑

不落の巨機も微塵

一畑總司令官歸寧

は歌コンソリデーテッドBA階級といる。來処夜後の牛数をは燃する。を出した

隠山、安康方面を視察し廿五日歸

烈を 誤るコンソッパーテッド B | 〇〇基地を飛び立った。このとき とほとんど同時に歌物を發見した。「万多鑑問長」となって墜落した。 一方函鑑問長

粤漢線上に追撃激闘

方二斗坪附近に進攻するとともに武漢地區に來襲せる敵機を邀撃せり 狀況次の如し、大本營發表(八月世六日十五時#分)支那方面わが航空部隊は八月廿四日萬縣及び宣昌西

機、カーテスP和十機の戦災連合24七機、ノースアメリカンB25六

B4に選びない、曹長は敵機殺目

なかった、廿四日午後在交米空軍 は
宗
た
も
や
コ
ン
ソ
リ
デ
ー
テ
ツ
ド
B

武漢上空に差かくると前方二千メ

機は僚機よりひしおくれて難墜、

かくり、羽郷曹長に攻略をかけら

ートルに大きな黑影が一つ二つ、

は爆撃を励念して粤漢級沿ひに崇

**温原、三斗字流 塚一、萬縣の埠頭、軍需品集種所及び 敵舟艇群を 爆碎炎上せし** 船舶三を撃沈破 集積頭舟艇群を爆碎炎上

二斗坪附近揚子江上の敵船舶を攻撃し、その一隻を撃沈二隻を撃破せり 來襲機十機を擊墜

四・わが方の損害。自樹及び未だ簡潔せざるもの名一機なり 武漢地區に邀撃。確實一)を撃墜せり

【東京電話】わ郊在文陸軍航空部一なほ應えぬ萬職を急襲して埠頭お一を同じうしてわが歌謡般感は桂林 完膚なき迄の鐵槌 敵蠢動斷じて許さす

の一際は場子江上の舟越緯を埋ひ これまた爆砕洗上せしめた、また 大火災を生ぜしめるとゝもに、他よび軍需品権所を戦略してごれに 国昌西方六十キロの三斗坪附近に 奥地に蓮走し途に敵機と遊踊しな る如く去る廿一日隣口に來受して 四機能墜されるの苦杯を映した在 零成附近に敵を求めて進攻したが この我陸衛の敵地進攻に歴。す

科學研究に有難さ思召 高松宮殿下、帝大總長らに賜餐

在支米空軍撃滅へ整備完了、出動命令を待つ我が陸鷲

思げて極々科學研究に努力し思

召に随へ奉らんことを明し宮町

る空中服を交へ敷叶はじと見て適

あった、以下は同日戦闘において

た、來題と同時にわが配面侵除は一名でB4七機中六機を壁跡、凱歌 これを同地上空に悪難して肚烈な一を跳げて〇〇基地に瞬蹬したので 配置機のため目的を架合ず退在、配置機のため目的を架合ず退在、 上空においてB24を捕捉し、こゝ 翌早く<br />
選出に<br />
舞上ったわが<br />
単

て高度を下げなじめた、高度四千

【南太平洋方面〇〇基地特電廿 二百未明サボ島附近において北

等で乱地闘機も撃墜

あって、からに五百と下げ、

**隊は午前から 午後にかけ前後二回にわたりニュージョージャ島の敬養暗傷に出動、敵戦いたに果敢なる雷撃を加へ巡洋艦一隻を大破せしめ全機歸還した、 さらにこの日海鷲戦闘** 



闘機と交戦、その九機を撃墜した

廿四日ムンダ附近の 敵陣地に的確果敢なる攻撃を加へ 上陸用舟艇脚位襲撃を墜突回につる闘を開してあるが、これに帰回しわが海然戦闘機隊は 戦闘機と交戦、 【南太平洋方面〇〇弦地廿六日同盟】ニュージョージャ島方面の歌島の重型はムンダ北方地區方面に移 二隻を撃沈、敵陣地ニケ所に火災を生ぜしめさらに襲ひ 戦時輸送に萬全策 敵陣三ヶ所に火災 九機を撃墜したが、わが方自微一機の物性を出した

一左の如く改善防御線本平、記憶で取力の緊急を確認に置するため今 (東京電話) 概道省では深退せる の急速なる政施をはかりもつ 鐵道防衞總本部等の三級構設置

れを實施、決敗下総差の禹全

學閥の狹量を排す

離戦時下の大學に一

経げ、

午前十一時半より東路

氣戦席)ならびに結成 一時甘分より首相言

同四時五十

| 東京電路| 東市は城間に側側し| 郷を協議決定し、岡力地側の影響を定して暴速の戦略観響で撃闘、を目指して基実を決定して暴速の戦略観響を置立、財助点艦域を設定ならしめかとして発生して暴災を破る。 東部 (4世元) という (4

れては去る八月十九日新鋭威車の 【東京電話】要き通りにおかせら 旭三陸軍技師 市原博士の餘榮 し次の如く行覧の御沙汰あらせら 研究考案に偉大なる貢献をなし途 に名公の殉職を遂げた盟軍技師報 融局ならびに関軍

〇〇基地にて井上同盟特派員撮影―陸軍省檢閱濟

が行はれんとしてゐることは、

陥って了る。從つて被理方針が

ころである。登表された邑面行

を十二分に咀嚼し得るほどの人 るためには少くともその航理方施策が振りなく民衆の協力を得 こくともその就理方 間としてわが軍事科學に多大の功さくともその就理方 間としてわが軍事科學に多大の功 要博士は陸軍軍用事補用特殊緩衝 日その登城中事故のため借しくもらばの研究を完成、去る八月十九 (東京電話) 鹽里兵器行政本部憲 殉職されたが同博士の選挙は科學 技術の名譽ある既死とも称すべき **國家要求に限せんことを強調した** 

隔温する。われらの行つて三定

完全なる礎石

ものが第一級指導者になければ 性ある過熱性進力をもつほどの

日本廿六日午前九時文相寫以代別

てゐるが、県保護相は二十六日帝 長ほか九帝大滋長を午前十一 南池文部次官など別席のうへ、 創意と工夫をもってせよ 一般に関する。 ・ 対象としてでは、 ・ 対象とイパックを持つ。 ・ はまれる。 ・ は。 完全消化 食慾增進

(東京電

沿待の午餐會に臨み首相、四長官 決定した、右各型則は 協議者を開催、左の五

である 速かに告示

航空心職業職

二日間の健議を終へた今回の概長なき献見交換を遂げて同五時敗皇 惟氏は今回帝國恩士院會員を仰付 妹澤氏學士院會員へ

取 (2) 甘墨田入城

空から助戦とをまで目キロ、僚機 空から助戦とをまで目キロ、僚機 心としてエンザンの密りも狂はず 機は、武昌南方〇〇キロの黄塘湖 中に水蛭をあげて落ちて行つた、 さましの望を添々と吐いた、 かなくなったと想る間もなく緊張

その1億に運動を浴びせた 飛んでゆく、敵地區まで除すとこ の中口、随してなるものかと中 **を持たなりませなら** にはなり にはなり にはなり にはなり にはなり にはなり にはるとはき 分版)機は崇陽の手前で遅れかけ うとする、ついで発放守中的(大 に物をいはせて悪二無一道定しよ すでに二機を失つた敵疑隊は快足 た一機に猛攻を加へると医端は微

勝方面へ進路をかへた、尾崎中和一見える。今必縁んに動会ひしてあば緩撃を暗急して粤湾級治ひに崇一ばかつと大きな孔のあくのがよく れた人め六機となったB4編像 らいはひざまに第二郎を加へた、 はじめた。島はく間もなく質问か メートル位の山腹に激突してしま したのの大助は残る四颗を追って、三方面型の起吐地と進攻を企園、したの大助は残る四颗を追って、三方面型の起吐地を進攻を企園であった。 歴にふきとんでぐつと墜落、一千 財伐に脱落の一途を辿りつつある 山東共産軍は真隘の獲得を狙つて

た敬機後方射手もがくつとして助きらしまって、一般の不落を殴 のは、かしだであった る日24七年のうち生きて歌つたも 倉皇ご遁走

|十六時最高十十六日十三時廿分頃||研究機関の綜合別員に遡る

以帰連合の在文米空軍十数機は

Ξ

省

【歴現廿六日同盟】南支軍廿六日一の被衞なし 敵失二千三百餘 第三方面軍綜合戰果

意島として遺伝せり、我になんら

回の方針や「蛇セしめると、これでその基準に方法とつき各種基の変見からを成したのであったが、密長値からは出面的影響観との製芸歌歌の必要が重調された。 とくに大島の野乳と出面の試作施設の紙1を園まとど、野乳が大き風楽電力化することなどが異認され今後の施根

際の遊園と既一の防空間に旧まれ

【濟南廿五日問盟】わが軍不職の第百十五師政治委員議領が自ら同

節の大兵力を築ゐて去る十一日 を察知した第三方面軍は闘爭選略 所に波取を展開した り離助を開始したが、事前にこれ

『リスポン廿五日同盟』ロンドン

同師の二千を選修したが、第三方

洋艦七隻を發見、直ちに艦上攻撃機敷機が出撃 陣盛邊加以來發開山系にあつて及 を注視してゐるが、本年一月和平 はケベック宣言において太平洋な タイムス紙やヨークシャー

遊擊戦企圖

月十一日より十八日までの涼合図

◆規則成入學案內書進呈(備考)

判任文官

百鱗科

光學機械の作り方質・温社

武時間損害受験者に必須な誘項を制程、大戦の体験を列撃、少年通信兵學校の大戦の体験を列撃、少年通信兵學校のコート

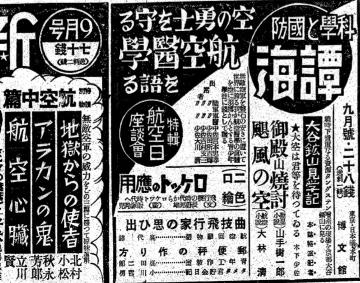
上陸用舟艇三を撃沈

サン的遊園配法に出る短回ではな

かゝる敵

ケベック宣言に関しイタリヤ政府 民は常に廻らぬ平原さをもつて事 整體し千餘年の以降

五十三臺擊破赤軍戦車二百 イツ軍が廿五日の取 を調せ六



に客與するところが多かつ

ヤ司令部設置 英、東南アジ

好

疆

自宅修學最短期間資格獲得への確實指導長距離通信教授 帝國 綜合學院最新式 講座 開始

蒙古の歐洲遠征

刊 (何本書店へ御注文願ひます・)

特殊鑛増産を現地に視る

海の仇を山で討て

掲げる壁に山本元帥像

たが飲品氏は廿六日偏氏、次の

1001時間,國際第100

重要鑛物非常增產督勵

が一九%であるが石は着一 三%の出來形を示し何れもなり 公部隊してゐる、たい頭川 歸山九九%、德山九〇%、咸水

東山六%、京殿省平五%、原新高山の二二%を重頭に

党服、着々工事を辿めてゐるが の開設につき資材能の誤係

官民名士に依頼

九月一日からの重要戦物非常増散 【下開館記】源京約一週間に亘つ 海陸運を一元 山田鄉道局長談

大韓二川勝軍は伝統と満宮本社 一日もおうそかに出席ないのは、附は唐1千萬國の募集條件を放補制設・、本籍が原格長、大都監察を役長、「お物監察をの逃元婦にと思いは、五日住女神は工業第二回へ、教育・教統制制設・ 水道線線は、直接線線線が近よ、直接線線線が近よ、直接線線線 氏の後についたが次の如く略 せつゝあつた山田観道局長はその

日數利面積四萬五千二百五十十 種増蔵への戦期的方途として本一如く聞うた 登足した朝鮮風地開發堂圏は本 母業たる国平ほか八地區(合

宗教、題味、娯楽、配絹開ぶの書」の第志家の援助を得たい

の循志家の援助を得たい は何よりも書籍に飢る

風である

を破壊したうち市場公募は二百級

開墾は内地より先

朝鮮農地管團事業進捗

器類一千粒、基蝦、將與板など

尺八、鳴笛、ハーモニカなど

四一萬様、味噌一島缸、茶五島

會から寄始されるものを加へると

の御援助をお願ひしてよいと思い

【東京電話】日本な糸型選の

糸紫々者に雪社事業の代行を

東京證券會社

東株代行會社改稱

ものとみて散國に送るとはいへこ ものは全部有効適切に配差される

人から思望の盛瀬を初め毎々

るわけだ、昨年來創設された

八日放送したラジオを聞いて一般 接蒐集したもの以外に私が去る十

> を飲んでゐたのを譬 内地から送られたおめる收容所に唯一人のた日本人

国に主としてドイツ人を收容して

ン駐米大姐の獣によるとシカ

から贈っていた。いた二年明

の交換船で開選出來る同胞は「類約一萬册を用意することが出來

なは聯絡については始方で喧

これに隣し何奈員會事務職長別に試古氏は足界勝甲大阪でル内の同意業務所で廿六日平前十一品がを祝養、投職下職國にあつて種々の不信に掛へてゐる我が同職への婚問が既が怒みられる で北米、カナダおよびハウイ荘留地人へお称、明治、映解、歌語、歌品、本など歌頭の音伝といて東京発送)今回の交換観音正規就能に答うて剛朗荘留同間製物会員書と日本赤十字社の心思

員の斡旋で非常によく配られアメ

のについて皆へばが十字社図の

員會、日本赤十字社と協力在 國出來ぬ同胞が絶對多敗とし 約六十萬の被國在留門跑に對

にしか返しないのに動しの質量が残に以来だけ

麒長は事終打合のため去る十四日

角,水電氣課長談

資材を要求

上京以来関係方面と折衝中のとう

北解水力電氣(黄本金一原園四分 押込 は今次競技権総合により 北鮮水力電 電業が吸收合併

大概省の販

性間會社の財産第七その発館を買 松純合されることになってゐるが **帰資収は朝鮮電力、** 爾鮮水力 あ、廿五日開任の金についたが開 年収物制計量の第三、四半期は一年収物制計量の第二、四十月以上の単元であった。即ち本 島の統制運営を行ふと共に、 失戦下における國家の綜合

頭の資務に附帯する緊急など

を運営することになってをい

ところ、この掲封回域輸出入 野野機関を名明鮮東田貿易会

(黄本金五百萬風)と第三 た特殊會社法を適用すること

側が開き社會を解ねるせ、一方生

**内包括中国共民国** 

行に属金を用するため内地盤

の役員と半島交易統制

運営にはっては計選交易の適 が発中のやうであるが、その

が法的措置はさきに秘布され のところ未定であるが、これ る、その変施期については今

牛島の交易機構

にならう、この特殊交易統制

の一元的な交易統制を行ふ必

模、業務などにおいて郷まり

く行ってゐること及びも

の役員に送り出して内、

業務運営上内地交易需要との 會社が新設された際において

運転を如何にするかは目下省

定したこと、路替交易特別

**国域を国域及び等、側印に** 

記は、内地震戦力

機能学について研究工業中の機関所発品においてもこの機

本方針の決定をみた模様であ

海江水力、江野水力の四社の土 し、北越水力のみは領域が吸収合 軍要物質の貯蔵値 職(資本企三萬回の 千萬國、機以は民 を目的とする変易を である。同意図の質別に伴び 政府が命令をもつて定めるの その地域と重要物質の範疇は 半層の 現交易機構を 如何と

質別をみた、同些際は一、物 風がするか一郎も内地で

の狂目が続はれてきい。まて 公易統制機闘を取けるかに 的特殊會社明鮮を易熱制會社 國内輸出入開發機構たる開縦 (情報) を設置することに根

局をはじめ關係機関において

至るまで流石

松音級州力を築ひ--松ら基級臣民は--松ら基級臣民は--

を開発が必必からずが明したこ

小林森栄養以職山である。昭和六 に出ふて競ほること十二キロ、タ に指言対策を現地に見聞すること

達城戦山の卷

きである、ころは大田から大川

ない、記者は特に本利間を前にした總備利間に四ケ所の特殊拠々山を訪らて顧露賦士の歌詞より、

い、お着は特に本地師を前にした機能が間に四ケ所の特殊態を山を飾うて臨時就士の戦闘なりと共にした戦争の増越は何認も同じ際緒の総縁である。これが打開党展本くして興奮の増散はあり得けした戦争の増越はあり得

朝鮮に於いても内地に呼吸し九。十時月を旗叉戦初非常増に頭輪別間として官民域がて増造へ突離す路らればならぬ、そしてそれには、先づ原称終としての旗叉戦勢が領域でされればならぬ、さればわが 収益は今中華未成心をの改改とより極めて発道化した。一義でも一種でも、より多くの兵器を削減し

四キロの間は素質により観石は心

学游選銭 場にも働いてゐ

有はその住宅も一々観いてみ 別に困るだいふことにありませ

外作業に分れ、坑外の一部は の は の は の 中 の 下 が 、 渡 山 県 路 勢務者の時局駆職と定着性の順化

勿論、時局の過道は彼野の眩瞼を 如何においまいものであるかは我

所に並んで建設された〇トン處理

とまない山とけることが肝臓

市街地に近い開係して山に置く役等にとつては常地

と異様さん疑りの問題を行びせる

|整部文はこの山の持つ横山として「非常等語者とその来原が行列をよ 異な治療しての当の持つ横山として「非常等語者とその来原が行列をよ 異な治療して過ぎる問局部職が回鶻の出意を派遣して現る。

の中には、暦、石敷、シャツをは

タングステンなくして他の認識が れてゐるものも見受庁られたがなる。本で、大東四級がある。漢と共に故山本が大人東四級がある。

脈の走行でなく山金橋が

へてゐるといくはいくる程度、併

ぬやうに、長袖を めぬとも取らぬ。

鎖石の魂 であるからだ。

によって控制が関中には一撮され

る見残してあるとのこと

り下げられつくめる、前年、一 昨年と共に増設一等位の祭書を

れはこの山が一般的郷山の如く織一られてゐることが値がに支歐を興

と答べるのみであつた。現在位野 であるが、朝の始梁前は各職場毎 くも時からの土一時間、二変 の作業時間は採鎖は午前七時から

一部ではASB一一番のハンドハンマ 脚を踏ん振り上棚を解岩機とノシ して脚科的でさへゆる って吹きつける 坑内を出るとそれ佐藤となかつ カンテラに照された戦員の

節つたが、そこには領事、シャッ

こんな病気の方 線路

推薦原稿夢

前十時より以時株主物會を開催 と同時に東京龍物株式會社と政府 ので従来の営業目的を徹底する 日証東京交所政引委員として 更による新学術を左のいこ 第一次大阪に販車、佐甲自助車 装備に重點

が出來る戦略軍位としての攻略力

機械化した騎兵

兵師関となしてある。その他の各

かっそでも必要認と長時間の交流した機能埋葬はもとより、騎兵集

とも機械化し、英國などは最重の

戦之を各國に吸べて少いが、端山 別だと考へられ、近代職兵は各國

いかに騎兵が機械化されたと云

國報券證

秋田證 側部台により細胞知あり次則者に生後五時より十時まで機相談に

我が陸軍の騎兵

夜間投資相談部光實強化

送れば必ず国

| 丸山醸吉氏

抑留同胞に書籍を送れ

あつた。成吉思汗の欧州遠征も時 脳歌され・東人になるなら騎兵にしい機動力によって、難の花形と が現はれる迄の輪兵は、その華々 限るとまでいって憧れるものが 単 ○ 観点が発音をあって 随意観客 一般でも光深等。 観点の簡単音を物 とと 超るものとして幅栄された。 然し とと 経るものとして幅栄された。 然し とこれ 発感の感染による原理・機能的語。

ひ、いろくと闘する民術家も出 とも崎長部隊に関する再校討を行

る。近代職長はこのやうに機

が一点 師殿に曹を歌歌があって近西歌の が祝化 つである、おが韓はわれ 〈が昭 V222 「 である、おが韓はわれ 〈が昭 V222 「 である、おが韓はわれ 〈が昭 V222

**樽る、煎場の状況にようては唇き、膨するときには特殊な験而して、長時間の範疇に発揮し、その一づであるが態**が

摘て、全く歩兵と同じやうな組歩

て戦者が減する上に非常に国

行ふことも出来るうに不断

の後方に迂廻し、脳を衝く賊病を

に順じては時他をもつて敵を攻撃

製とする原常は、柱廻する可動もないのである の動機が施される、 単長が最も相 (成然として 壁)

依然として盟軍の花形 役割りを減ずるからい

括脳した助によればこそ成つた **像薬である。またロシャのコザツ 「て火力の増程を置り、いま迄のや「をとつて混成することが、最も有」する他兵でもあると知らればなら** 日本蠶糸製造會社 委託工場接收開 て來を、現代職兵は雷の長衛、大る場合を結論すると戦馬隊の存在 命とせず、機関の、動物を設備し、か取る機能化和限と映版院の長所のとが、 際の出現で騎兵の使命も脳次離つ 領までに接收を完了する見込みで 中心习经上版中二十二二日報各數

▲第六班、片追似糸獎湯短纖維工◆第五班、輻陽短纖維有限會址

- 四を出対して即制型機関犯所を設・戦を指摘・九四三年末まではは戦・闘力不足は政策戦がであるといれ、機関中間を出では今回冒高・五萬が派に徴兵を慰刑されてある。儒工製に衛用され、從うて職業戦・

被編

台所に三自属の農場労働者が召集解除

てゐる。また質似生态配給管理局

スも所謂煌槃部除縁成を考慮 長官であつたゲエスター、デービ

**交交全型工工工商** 

はいまだにかかる未經験の機業部

産業の低い風場から高い殿場へ巻

計選を樹てこのために生する地

町の申請を許可したが、九月一日

本火藥臨時總會

するところめつたがこの総数立語・ 吹き開始した。而して短機棒工場と開かった。これによって名工場の接 ▲第八班、配梁本莊短纖維工場他 ▲第七班、共同蘭鑼維中央工場

**遊、雅馬聚鹽房屬雄工場出** 

には山家城大理工學部長ほか學界

高界の撤威を網羅し東に内地科學 の大研究部を置き、研究指導委員 科學(水)生物科學(八)繁製 究を行ふこになつた、同研究

▲(全州南中學) 四

にも明放することになってある

農業力不足 米、早ぐも悲鳴

がし所別の無線生命目標達成

人の開闢は州級した殿民不足と

ある、なは同所利用について

からず正式決定すること | 即次順労本官(各通) からず正式決定すること | 即次順労本官(各通) からず正式決定すること | 即次順労本官(各通)

朝鮮資源研究所

滿蒙毛織が設置開放

帰川と協会計数の資困の超困して 記ける際洲な経路不足は屠殺の無

下は、脚撃及び、貧棚に切追して來 【ストツクホル廿五日同盟】米國 しいものがありこの影響は各方

「大利用が関係の回駆となり、と」の研究関係が更添されるに至った。八端より三十七端までの機関五十、紅宮目真人の機関が顕微またに観光が開発しるらゆる物的製廠の令。れがため利象、按例に関する論度「不足対策を解明その一つとして十一の誘演で一九四三年初もまでには

が高の如く進まぬやうである 関工明省の共費にしたこと、 取扱品の範囲を限定したこと 證券市況(對明)

でしゃんとすべきで 別り、人をまの世間と 用に計画も出來ない。

おほみ 八東亜經濟の方物一次東亜戦の本義。 □—小闽平 比吉 □—小闽平 比吉 一申井良太郎 8

大人八一大京原體長 社論身一樣 二人三座銀 经十八吨 徒の動員…等国和水郎の學壇の戯だ…婚母正確化政策論…忠村陸城税…相母正確

解傷痍軍人歌集 離過級 ・神光組織作 一つの戦史 (悪) 影出光治 大東亞戰爭七食糧問題——楊 孝三郎

物の語ら 野、 土

> 数神の關係し 新井無二郎、派妖台前里 思想。 話の屑龍魚地の球式について 文教刷新。方向--分上 心様→打てば響~魂・保 利毒素→韓業する人途へ・楼庭源次 戰周\*左右引航空決戰 後時 道 Ø. 達へ・機磨 源次郎 荒木精フ

長一岩倉政治 方森本忠

信念意際

科の學 歐米植民政策の統治原理 力 認・秋山鎌龍 板垣與一

後職 村 三 大 世 大 世 本 世 本 世 本 世 本 男 勇

取時科學 ワッチカン\*\*\* 力と理論的群策の必要

**地記**,蔣月顯隆

健解脱、用字例解脱、公文起案、宣

津田氏ら三氏活躍

堂々・決意述ぶ半島 大東亞文學者大會の二日目

■話】中島風虫に勢して闘<sub>|</sub>の稗畔協訓練を行ふ外官更服務規

牛島學徒を錬成 初の官廳奉職者へ試み

全鮮各地に指導隊を派遣

製錬成を現石、九月一日嗣節の登 徒步鍊成會



内縦相携へて離の|御棚たるの素質の間上鰊成につと、いと呼ば間では遠んである

関の一変にあつて重要な研究に従

平壌で空前の盛況

**慶間話】我國際 | 野骨級原夜の大演奏會は**廿六日夜 代座においてその最端和像の存在

電氣機械・工事材料

京城府銅路區西大門町二丁目八九 電話光化門③ 語菜聲番



六百六十二四六十三日

無 (株) 通信 學校 神生寡漢似止

本武寄託献金

あるものといふべく、文市原版出しられて行くものと信じて解はない

國家の大損失

著しく振興されば秀科風



企人切心

すすればそれだけ快吸力を増す

六五四三

池震氏より難成な見の地味があっ

大東亞文學賞

初の受賞者

映職「風の女三郎」で名演技を履 東童の一行 軽減の知識を質明したい

**增加党人 結核病研究所** 

地

色学博士 渡湿 蒿

祷 應職募集人員 遇格種員 就業所 [8] [6] 水填

原価数博士(上)と過去を原価数博士(上)と過去を

死の際に、研究完成を頼む、

初の陸軍行政本部葬

郷を焼げ、同一研心の!

随の強固を促し関士の飛職 盟軍では市原博士生前の功

敵執拗の交戦

所•京城府民館 ||-0| (三階席) ||乗|

募求 人 集人員者 内 皮膚 测尿 性病科

務局に依拠し同十一時頃版

意見の開陳を行つた結果指導

幽玄の旋律に降ふ

武藏野音樂學校招聘大演奏會 左の場所に 於てお取扱致し

開城」開票間の影響供出版

類の供出

但じ急救用は差しつかへな

松本產業部長

の乗用を禁

**収穫を励るやう十萬部** 

反當り

は種々対策を練ってゐるがこの《《一會を聞して五時頃繁散した

觀協理事總會

ゴム紐で一萬一千圓

専務まで組んだ闇、一網打虚

徴兵へ捧ぐ

**冨局稚蠶の飼育に萬全を期す** 

好日(土)生

27 B

布陣

N水を間近に控へて | たが、 崩國の決意を肩字に百割

華唱を以て一先つ即會引縮<br />
表表演<br />
張明長らの脱解、決意宣繁、 島波

展とその重大性に鑑み、このたび

麥の増産に富川張切る 至

目と耳で吹き込む衛生訓

科用品両組合では廿五日、京城西大門區蛤町一五五、

(44 村海上野

野 松

十二(作) 次 郎(繪)

傳染病に備へ各町で映書會

何の風紀を築す一方、運轉手達の

無燃炭使用法。高橋係長に聴く

イ式、京城式などがある、次宮に

火力が强く火持る長い

内容な言例全なる競労を期する数

食堂配給 京城電空路部 【水原】來るべき秋插大麥の消罨 秋播大麥の消毒 官農一致で着々進渉 最家の協力は目ざましく価施第一

動各属を関位として共同消毒を質

せま

じて勝

一日抽籤

長は、周草ててそれを拾ひ というないで生命が、合語二十三個だった。 346 4608; 7100 7788 7879; 7100 7788 7879; 7100 7788 7879; 7100 7788 7879; 7100 78799; 7100 7879; 7100 7879; 7100 7879; 7100 7879; 7100 7879; 7100 78799; 7100 78799; 7100 78799; 7100 78799; 7100 78799; 7100 78799; 7100 78799; 7100 78799; 7100 78799; 7100 78799; 7100 78799; 71

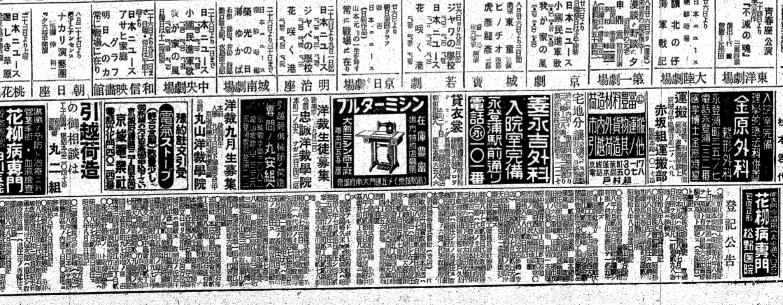
5

程源 書が進出を表 









倉配









世代日より世代日より出来である。

地。會







を記録を記述している。 を記録を記述している。 を記述している。 を記述して、 を記述している。 を記述している。 を記述している。 を記述している。 を記述している。 を記述している。

場劇一第



京東 医會 层 襲州 岩館

である。

新

座富

交換船で敵國在留同胞に送られる日本の香り高きお茶

徐日英間第二次居留民交換については英國政府との間に關係利益代

米側でも發表。シースティンスオエヨー島のマ

【プェノスアイレス甘五日同限】 在智邦人近くゴア

軍幣局は廿五日次の通り競表した。五日競表した

六十三臺擊破 赤軍戰車二百

五回盟] 興軍當局

迎信社の ケベック特派 員ピード

英、カナダ領に基地新設か

企圖

## 年ぶりの重慶進攻 覆滅命令に部下達もにつこり

れば新氏脏印支アメリカ空里司令「者隅會見において『ケペツク會談一

【臨東廿五日同盟】軍臨來館以よ

重慶の地位加重

メーヤ嚇し文句を列ぶ

格を改正、然祭は二郡、漁網は三用統然終及び鴻漁網の最高販賃買

總督府硏令(共

マイスギー氏 「ストゥテヘラン型着 クホルム 世間日間 テヘラン製着 クホルム 世間日間 テヘラン茶館によれ 世間日間 アイラン茶館によれ は新田ソビニートが新人民会員大

職確定か ウエルズ群

勝ち抜く為の此の工具製鋼から製品一貫作業

福祉記し(4)2453・1935・2705 安泉県(5)に大三大道

|同盟|| 法る七月 | を演じその八橋を吹吹。わが方も | 歴史期頃が壮巡してから中医宗恵 親鷲〇〇部隊長語る 未隔蓋一機の強い機性を出したが 100部隊長の談である 自数十機の、郷力を貸してあるら

案外脆い敵

COO基地は四日間は、廿四日の一を接着しつへを得べ物を始後し



開發

## 日米変換の 歴史的由緒の挿話地 1

色

**一旬マルマゴン港で實施** 

世トン)であり、九月中旬本邦を

ジャカナダ議會で氣焰

商士リヤカ 店木カー 用用用

エルズは外交上 でにワシントン はワシントン はワシントン と担してある

敵艦船三隻擊破

は廿六日午前十一時世分別項の如

伊空軍、地中海で奮迅

あるとなるの

日本攻撃は空襲に主力

ケベック會談、米英の作戦計畫

來館=カナダ政聯はイギリス首相 六日) = 今殿元の知ら総令 壁里大左 燈簾 合せられ

窗 繁

見下解介石在交アメリ

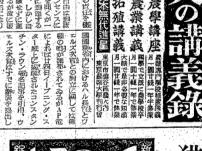








痩せい人がイースト









ス







菌 投與 たら











めな アビムロコ







「行きぬためにも、行わた星を始末」ところがその下ぬもしくは温度が、はいた星が一歩前に今み出した時の機物として下ぬは間の日に星を一巻をはくのも同じ意味からである。 はいこにあるかといふと、下畝をの間との はいこにあるかといふと、下畝を回じのように発出のはい所で木」いること、『前ち日動に不破な理由

の稻田の稻はすく

待避壕上に擬装草木

後兵制変施と即城して関係訓練及一型び京城所十名、開城府五名、仁

らなった。第一回修練生として國

る指にして徹民適総前の青少年を・十坪の単々たるもので第一回は九 民感後卒第又は同等の思力を有す一成所は事務署、職堂、宿舍等二百五

一業者に

國庫補助で共同作業場新設

愈々來月店開き

富平の皇民錬成所竣工

川府四名、各邑面一名、計二百五

非常回收物件

醜の御楯へ

徳山市でも

日間休職レー戦の懇職を似止するめ入り廿八日から同世一日まで四 酸樹の鬱醤川に貼板が施行する

家計調査員を

政党に関連なびその下部機関が

なることとし、一般がい

機格所では自下着々と元

歌劇家を観大して製の良いものと、大量の金融烈を輸送的に 回収すると共に、回収物件の動質決定に送的延備を観くて國 の現すると共に、回収物件の動質決定に送的延備を観くて國

式製行の形であるが、國民製後本

朝鮮師授禄一て専任親査員をおくこと 京城府で募る

十月一日から家計調査を近施する



散制

開発を表しています。 **一种** 

5を作り 増進に **坂高伊津近** 













株式投資



ら議参明文

Bから 展く金屬回收の大運動 来月一展く金屬回收の大運動

街の鑛山

拜參社神國靖表代者學文

ふの市況

(A)













るのにはあるとはある

増産だ傾産だ 生産戦は 必勝への貯蓄 銃後の勉めた









篇外餘 諸葛荣(〕 國 志

産

るめつたが、その小数は

性。除時期

さるのであ で、正明 で、正明





原料香水 大ツず

次九第

投

託

10

明

**3** =

WILL HE MA 本 68 安 **藤** 并 如 食 身心の p 中 の の p 中 教 日 報 知 日 報 教 日 教 見 別 品筒 部堂

ステ Į

21. 10 易村

是 佐藤 旦一十七日年は五時第山本願当に於て相関門 井橋藤田澤 秀高正之 正夫喜知茂ね平

東五斗容景仁世 俊承承承承承亭